



草津東高等学校図書館
本derful!委員 発行
＜2018. 2. 15＞
2月号 学校ホームページ版

新しく入った本より

| 書名 | 著者名 | 請求記号 |
|---------------------------------------------------|---------------------------|---------------|
| Half 2018.1.19 草津東高等学校文芸部誌 | 草津東高等学校文芸部 | 050-7 |
| 日本史の内幕 戦国女性の素顔から幕末・近代の謎まで | 磯田道史 | S-210.0-1 |
| 「孤独」は消せる。 私が「分身ロボット」でかなえたいこと | 吉藤健太郎 | 289.1-3 |
| プラタモリ 12 別府 神戸 奄美 ★ | NHK「プラタモリ」制作班 | 291.0-1-12 |
| 裏が、幸せ。 | 酒井順子 | B-291.4-4 |
| 迷惑メール、返事をしたらこうなった。 詐欺&悪徳商法「実体験」ルポ | 多田文明 | B-365-7 |
| 脳が冴える勉強法 覚醒を高め、思考を整える | 築山節 | S-379.7-7 |
| 手を洗うすぎではいけない 超清潔志向が人類を滅ぼす ★ | 藤田紘一郎 | S-498.0-7 |
| ロボットとは何か 人の心を映す鏡 ★ | 石黒浩 | S-548.3-1 |
| ユニクロ潜入一年 | 横田増生 | 673.7-3 |
| キングダム 49 | 原泰久 | M-726.1-14-49 |
| ディズニー名曲集 『アナと雪の女王』ほか ピアノ楽譜 ★ | 安藤佐知子ほか | 763.2-7 |
| ピアノで弾くベストヒット2017 ★ | ヤマハミュージックメディア | 763.2-7 |
| 歌コレ 2018 | シンコーミュージック・エンタテイメント | M-767.8-9 |
| K-POPスター大名鑑! 2018 | ダイアプレス | 767.8-7 |
| 東大ナゾトク 東京大学謎解き制作集団Another Vision nからの挑戦状 第3巻 ★ | 東京大学謎解き制作集団Another Vision | 798-1-3 |
| 英語の品格 ★ | ロッシェル・カップ | S-830.4-1 |
| オーバーテイク死を招く至宝 ★ | 薮井碧 | 913.6-7 |
| ミッドナイト・バス | 伊吹有喜 | B-913.6-1 |
| 8年越しの花嫁 奇跡の実話 ノベライズ版 | 国井桂 | B-913.6-1 |
| カゲロウデイズ 8 ★ | じん(自然の敵P) | B-913.6-7-8 |
| 伊藤くんA to E | 柚木麻子 | B-913.6-1 |
| 地球の長い午後 ★ | ブライアン・オールティス | B-933.7-1 |
| ダークタワー 1 ガンスリンガー | スティーヴン・キング | B-933.7-1-1 |

★印の本はリクエストや資料相談から入りました。予約・リクエスト随時受付！
お気軽に司書まで。

卒業イベント等に...

お菓子作り、花束
&ラッピングの本

冬季オリンピック

関連本

図書館にいろんな本がありますよ！ぜひ参考に。
図書委員が選んだおすすめ本コーナーも見てね！

「昔話法廷」

今井雅子：著 金の星社

＜あらすじ＞

三匹のこぶたは殺人罪か正当防衛で無罪か？「カチカチ山」のウサギに執行猶予は？「白雪姫」の王妃は有罪か無罪か？おなじみの昔話の登場人物が現代の法廷で裁かれる、法廷ストーリー。

＜おすすめポイント＞

この本は裁判員制度を意識づけるためにNHK、Eテレが放送したテレビ番組を小説化したものです。読めば読むほど深まる、昔話の法廷の世界はおもしろく、とても裁判について考えられます。勉強もできて、おもしろいオススメの本なのでぜひ読んでほしいです。

本derful!委員のおすすめ本

「往復書簡」

湊かなえ：著 幻冬舎（幻冬舎文庫）

＜あらすじ＞

高校卒業以来、十年ぶりに地元の結婚式で集まることになった放送部6人と教師だが、女子4人のうち千秋だけが行方不明だという。

6人と教師は二十年前の不幸な事故とつながっていた。真実を知りたい悦子は、式の後日、事故現場にいたというあずみと静香に手紙を送る。

＜おすすめポイント＞

この物語は登場人物が手紙をやりとりしていきながら進んでいきます。はじめは展開をよむのが難しいですが、彼らの手紙のやりとりによって当時の人間関係や真実が分かってくるのがおもしろいです。

登場人物たちが高校生の時にあったことを回想する場面が多く、彼らの立場や気持ちに近づいて読むことができます。

「ふたご」

藤崎彩織：著 文藝春秋

＜あらすじ＞

いつも1人で、女友達とはあまり上手いかわなくピアノと友達な夏子と、夏子を振り回し困惑させるが、自分の軸がぶれない月島。夏子がある日、月島にバンドに誘われて入り、月島やバンドメンバーとぶつかり合い成長していく青春物語。

＜おすすめポイント＞

この本の著者は4人組のバンド「SEKAI NO OWARI」のピアノ演奏やライブの演出を担当しているSaoriさんであるということを知り、この本を読んでみようと思いました。いざ読み始めてみるととても読みやすく、あとこんだけと思っても、もっと読みたくなりました。登場人物の感情に入りこみやすく、深く読むことができると思いました。今の私たちの世代にはぴったりの1冊だと思います。

「フロード街の12日間」

デボラ・ホプキソン：著

あすなろ書房

＜あらすじ＞

1854年のロンドン・フロード街でコレラの大発生が起こる。少年イールが医師のスノウ博士とともにコレラの感染源を特定し、それを証明する、史実をもとにした物語。

＜おすすめポイント＞

この本は実際にあった出来事をもとにしているけど、少年のイールやそれを取りまく人物は全て創造です。実在の人物と創造の人物が融合することで、誰にでも読みやすい本になっていると思います。

「きみの気持ち聞いてみたい」

こんにちは。保健室にいるので、私のことはあまりなじみがないかもしれません。私の顔を知らない方が、元気に、ケガなく過ごしているんだと思います。でも、必要な時にはどうぞ声を掛けてください。

読書は、したほうが良いとは思っているのですが、正直なところ積極的にはしていません。雑誌や新聞でも斜め読み、本は必要に駆られて読むといった感じです。なので、この原稿を依頼されたとき、「さて、どうしたものか・・・」

大学生になったときのことで。それまでの高校生や中・小学生のときの環境とはまるで違いました。出身地も様々ですし、年齢も様々でした。いろんな考え方があることは頭では分かっているにもかかわらず、そのうち人間関係に悩み、悶々とした日々を送っていました。

2年生になったとき、留年して同学年になった先輩と話すようになりました。そして、その先輩が薦めてくれて本が、『きみの気持ち聞いてみたい』（伊藤守 ディスカヴァー・トゥエンティワン）でした。小さな絵本のような本です。内容は、コミュニケーションについてでした。5分もあれば十分読めてしまうのですが、自分の中でかみしめればかみしめるほど、自分自身を振り返ることができました。“コミュニケーションはキャッチボール”、よく言われることですが、このことを心から感じる事ができたと思います。

姉妹本もたくさんあり、その中でも、コミュニケーションについては『この気持ち 伝えたい』、自分自身を見つめ直すのに『今日を楽しむための100の言葉』『悪魔のささやき 天使のはげまし』は何度も読みました。今でも読み返しています。

私が学生の頃は、友達とおしゃべりは出会っている時だけでした。電話もしましたが、長電話になると通話料金のことで親に怒られないかと気になっていました。家で一人にいる時には、あれやこれやとしたり、悩んだり、自分自身を振り返ったりしていたように思います。スマホやパソコンが普及して、友達と出会ってなくても画面を通じて連絡できるということが普通になった今、静かに自分自身と向き合うことはありますか？

『今日を楽しむための100の言葉』より、ひとつ、贈ります。

天に星が輝いていても、
あなたが見上げなければ、ないに等しい。
あなたが自分自身に目を向けなければ、
あなたの価値もないに等しい。

*紹介書は全て伊藤守：著、ディスカヴァー・トゥエンティワン：発行

♪ 読書マラソンおすすめ本 ♪

本校図書館で行っていた「読書マラソン」より、書評賞に輝いた本&おすすめコメントを紹介します。



“一万円を3人で公平に分けるには？”みなさんはどのように考えますか？ネタばらしになってしまうので答えは書きません（ぜひひ讀んで確かめてみてください！）。この本はこういったクイズがたくさん出てきます。ただし、発想法、思考のトレーニングなので答えが一つとは限りません。解答例以外にも解決策がないか考えてみるのもいいかもしれませんね。

『ずるさで勝る 水平思考トレーニング』

木村尚義/著 SBクリエイティブ
＜おすすめ人：ホーム＞

夢に向かう人、道を極める人、毎日少しずつ頑張っている全ての人の背中をあたたく押してくれる本だった。主人公はまさに頑張り方の見本を示していて、「どんなことも無駄ではない」と再確認できる。読んでいる途中何度もピアノを聞きたくなる！！最後には希望しかない。自分の道について歩き方を、そのヒントをたくさん教えてくれる。初心だとか目標だとか憧れだとか、道しるべがあれば大事な物を見失わずに歩いていける。その道しるべの輝きを奪ったり見えなくしたりしないことが一番難しいけど、追い続けて極めるためには一番大事なことだと気づかされる。

『羊と鍋の森』

宮下奈都/著 文藝春秋
＜おすすめ人：アイ＞

夢を持たない千世が、夢を見つけようとし、そしてそれを見つけるために努力しようとする姿に感動しました。夢を持っていなかったり、迷っていたりしても、「自分にできること」を少しずつ始めてみるのが大事なんだと改めて気づかされました。どんなことがあるかわからないこの先の道にも、「はじめの一步」を踏み出していこうと勇気がもらえ、頑張ろうと思える物語です。自分にとって本当に大切なと思う事を大事にしていく、そんな素晴らしいことを教えてくれる、あたたかい物語です！！

『神様の願ごと』

沖田円/著 スターツ出版
＜おすすめ人：いももち＞

本の輪を広げよう！読んで良かった本のおすすめコメントを書く「読書マラソン」次回も応募お待ちしております